

《一般質問者一覧》

(平成28年9月定例会)

1. 鎌田 礼二 議員

(質問答弁方式：一問一答方式)

(1)議会中継について

- ①議場のデジタル化について
- ②宮城ケーブルテレビの議会中継について

(2)市立病院について

- ①過去10年間の収支について
- ②市立病院事業調査審議会と改革プラン評価委員会について
- ③将来の展望について

2. 小高 洋 議員

(質問答弁方式：一問一答方式)

(1)藤倉庚塚線上 藤倉二丁目側の歩道整備について

- ①歩道について、勾配がきつく歩行者の通行が困難であることへの対応は

(2)利府中インター線整備について

- ①利府中インター線整備第1期工事について、進捗と今後の見通しについて
- ②利府中インター線第1期工事分供用後の、市内の交通状況の変化についての考え方は
- ③利府中インター線整備第2期工事について、今後の市の取り組みにおける考え方は

(3)塩竈市における子ども医療費助成制度の拡充について

- ①18歳まで対象を拡大することについての基本的な考え方
- ②所得制限を撤廃することについての基本的な考え方
- ③他市町村と比較しての塩竈市の制度の現状
- ④宮城県の、3歳から就学前までの対象拡大を踏まえて、市として今後どうするのか

- (4)障がい児保育について
 - ①保育所における障がい児保育の現況と課題
 - ②塩竈市障害児保育実施要綱について
 - ③市内私立保育園における、障がい児保育に関する県の振興補助金の返還を求めていることについて、現在の状況とその後の検討内容について
- (5)塩釜高校の卒業生の進路について
 - ①ここ五年間での進路状況について
 - ②市内での就業状況について
 - ③市内への就業をいかに促進するか、市としての考え方、取り組みについて

3. 阿 部 真 喜 議員

(質問答弁方式：一問一答方式)

- (1)塩竈市政について
 - ①ごみ袋の改善
 - ②市民憲章の制定
 - ③第二創業に対する支援について
- (2)経済への取り組み
 - ①中心市街地活性化法について
- (3)情報発信について
 - ①現在の広報戦略の現状
 - ②広報戦略課の創設
- (4)伊保石公園の開発
 - ①健康施設等の整備

4. 土 見 大 介 議 員

(質 問 答 弁 方 式 : 一 問 一 答 方 式)

- (1)防災・減災に向けた取り組みと、防災施設の平時有効活用について
 - ①防潮堤を含めた防災施設の整備スケジュールについて
 - ②市民の防災意識向上のための取り組みについて
 - ③防災施設の平時有効活用について
- (2)子育て世代に選んでもらえる塩竈を目指したまちづくりについて
 - ①塩竈市の子育て支援の基本方針は
 - ②子育て世代に対する定住促進の取り組みについて
 - ③保育所・保育園の利便性向上について
- (3)新魚市場における漁船誘致策について
 - ①近隣他魚市場と比較した際の塩竈市魚市場の優位性と漁船誘致のための施策について
 - ②魚市場の水揚げ処理能力について
 - ③今後目標とする水揚げ高と、今後3年間での県内魚市場における水揚げ量のシェア目標
- (4)協働のまちづくりについて
 - ①市民活動推進のための施策について
 - ②みなと塩竈ゆめ博を協働の観点から見た際の成果とは
 - ③海岸通地区の再開発にあわせた観光活性化政策と市民(団体)の参画について

5. 菅 原 善 幸 議 員

(質 問 答 弁 方 式 : 一 問 一 答 方 式)

- (1)ふるさと納税について
 - ①本市のふるさと納税の取り組みと進捗状況について
 - ②企業向けふるさと納税の推進について
- (2)空き店舗・空き家対策
 - ①空き店舗・空き家の現状について
 - ②空き店舗・空き家の利活用について
- (3)子育て支援事業
 - ①産後の子育て応援メールについて
 - ②子育て支援センターにおける一時預かり事業について
 - ③子育て支援センターにおける大型遊具の導入について

6. 山本進議員

(質問答弁方式：一問一答方式)

- (1)東日本大震災集中復興期間の総括について
 - ①海岸通地区震災復興市街地再開発事業の今後の取組について
 - ②新魚市場の管理運営のあり方と今後の市場の方向性について
- (2)東日本大震災復興・創生期間における政策について
 - ①政策決定システムと政策評価手法について
 - ②情報公開とアカウンタビリティについて
 - ③人材育成について

7. 志賀勝利議員

(質問答弁方式：一問一答方式)

- (1)重点分野雇用創出事業に関して
 - ①6月定例会最終日の「産業建設常任委員会所管事務調査報告」に対しての、当局の対応について回答を求めたが、即答できない理由に「裁判に影響することも考えられるので」との話でありましたが、何がどう影響するのかを具体的にお答えください。
 - ②住民監査請求の回答書「監第23号」の中に「相当の注意力を持って調査をすれば、監査請求に足りる程度に知りえることは可能であった」としているが、「相当の注意力」とは具体的にどの程度の注意力をいうのか、示していただきたい。
- (2)今後の本町商店街の振興策は
 - ①以前、同様の質問の中で、佐藤市長はまちづくりに対する考えは「百人百様である」との答えであったが、佐藤市長自身が考えている「まちづくりかくあるべし」を示していただきたい。

8. 伊 勢 由 典 議 員

(質問答弁方式：一問一答方式)

- (1)海岸通地区震災復興市街地再開発事業について
 - ①地権者 59 人で再開発に同意していない 8 人の理由について
 - ②同意に当たってのクリアすべき課題について
 - ③9 月末の 1 区 2 区の保留床テナント公募状況について
- (2)海岸通（本塩釜駅前商店会周辺）の地盤沈下対策について
 - ①市道復旧状況及び計画について議会に対して最近示されていない理由について
 - ②今後の進め方について
- (3)塩竈市新魚市場について
 - ①鰹・鮪はえ縄の漁獲規制の影響と対策について
 - ②卸売機関一元化について
- (4)都市マスタープランについて
 - ①将来の都市構造、市街地整備の方針、道路・交通施設整備の方針について
 - ②改定都市マスタープランと市議会との関係について
- (5)マリゲート塩釜について
 - ①テナントの撤退と誘致対策について
 - ②マリゲート塩釜の道の駅について
 - ③周辺の道路復旧工事について
- (6)仙台港区における石炭火力発電所の建設と公害防止協定について
 - ①議会と市民への説明について
 - ②県及び 4 市 2 町との公害防止協定の内容について
 - ③石炭年間 32 万トン使用と CO₂・硫黄酸化物等及び PM2.5 排出について